
両思いなのに...

潤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

両思いなのに…

【Nコード】

N8656V

【作者名】

潤

【あらすじ】

ゆるりと部活を先輩と2人でしていたらいつのまにか…。
そして卒業式がくる。

あ、別サイトにもUPします。

俺は野田^{ノダヒロト}紘斗。

ここはとある高校。

放課後。

野球部が練習しているグラウンドや

吹奏楽部が練習している音楽室に

俺はむかっているわけではない。

作法室へ向かっているのだ。

何部かって？

邦楽部だよ。

聞いたことないだろう？

俺もここへ来るまで知らなかった。

部室にはちよこんと座っている

上級生の篠沢^{シノサワミカ}美夏先輩しかない。

つまり邦楽部には俺と篠沢先輩しかない。

しかし恋愛感情なんてない。

いつもゆるりと琴をひいて

足がしびれたら休憩しつつ話したりしている。

今は練習中。

「あー足しびれたー」

俺がいった。

こういうと必ず休憩を

一緒にとってくれる篠沢先輩だ。

「足しびれたねー。少し休憩とろうか」

「はい」

足をあぐらに変えて俺はふと思った。

今は冬でそろそろ受験が始まる時期だ。

高3の篠沢先輩がのんびりと

琴をひいていていいのだろうか？

「あの篠沢先輩…」

「何？野田君」

「先輩、受験とかいいんですか？」

「ああ〜うん。」

夏休みに専門学校決めたから

「専門学校つすかー。」

何のつすか？

「美容師だよー」

「へえー」

「さ、そろそろ練習再開しましょ」

いつものことだがひとつの話題が

終わったたら練習再開するよな。

「はい」

—————
そして時は経ち卒業式。

1年だから自宅待機だが…

俺は篠沢先輩の邦楽部の後輩として
式にはでないが部室前待機していた。

昨日のうちにメールで

篠沢先輩には卒業式終わって

一段落したらプレゼントがあるんで

部室前に来てくださいと頼んである。

そして来た。

篠沢先輩が。

「あ、どもつす」

「うん。プレゼントって何？」

「あ、はい…」

「これです」

とって俺は花束と

琴の携帯ストラップをわたした。

「卒業おめでとうございます。

また遊びに来てください」

「あ、ありがと。

うん。

でも、

私は北海道の専門学校行くから

いつ来れるかわからないの」

「そーなんっすか。

見送り行ってもいいっすか？」

「うん。

3月20日に関西国際空港に

1時発の便に乗る予定だから12時くらいに来てね」

「はい」

3月20日12時。

俺は篠沢先輩の見送りに
関西国際空港に来ていた。

篠沢先輩がいた。

「篠沢先輩！」

「あ、野田君……」

「行ってらっしゃいです……」

俺は何かを言わなくてはいけない気がした。
恋愛感情なんてない？

そんな馬鹿な、

俺はこの篠沢先輩と一緒に
入れて楽しかった。
もっと一緒にいたかった。

「……篠沢先輩！好きでした。」

もっと一緒にいたかったです」

……。

篠沢先輩が沈黙した。

そして口を開いた。

「私もよ、バイバイ。」

私の好きな野田 紘斗」

そんな両思いだったのかよ、くそう……。

もっと早く告白しとけばよかった。

涙が止まらない。

俺は一人で泣き続けた。

そんな両思いだったのかよ、くそっ…。
もっと早く告白しとけばよかった。

この言葉を繰り返し呟いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8656v/>

両思いなのに...

2011年10月7日17時22分発行